

▶ 会社概要

会 社 名 株式会社東京システム技研 (略称TSL)
 設 立 1971年2月22日
 役 員 代表取締役社長 布施 靖行
 資本金等 2億2千5百万円
 従業員数 216名 (関係会社含む)
 本 社 〒160-0023
 東京都新宿区西新宿1丁目21番 明宝ビル3F
 TEL 03-3342-2651 FAX 03-3348-4634
 関連会社 株式会社ティー・エス・エル北陸
 〒920-0869
 石川県金沢市上堤町1番33号 アパ金沢ビル4F
 TEL 076-262-3266 FAX 076-265-6226



▶ 沿革

1971年	2月	(株)東京システム技研設立。東京エレクトロン(株)ソフトウェア部門が(株)東京放送の協力を得て分離独立し、資本金500万円、横浜で発足
1977年	1月	EDA (Electrical Design Automation) 分野に参入。論理シミュレータ、回路シミュレータなどの輸入販売を開始
1982年	12月	(株)東京エレクトロンが所有していた全株式を取得し、完全独立
1993年	2月	EUCを強力にバックアップするミドルウェア「DBEAM」発表
2000年	3月	通産省SI企業認定
2003年	8月	金沢営業所を分離し100%出資子会社(株)ティー・エス・エル北陸を設立
2006年	2月	プライバシーマーク取得
2008年	11月	エコアクション21認証・登録
2009年	5月	大学向けGPS出席管理ソリューション (iPhoneアプリ) を発表
2012年	1月	ISO/IEC27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) 認証取得
2013年	1月	ISO9001 (品質マネジメントシステム) 認証取得
2013年	3月	スマホアプリ「上野動物園ナビ」リリース
2016年	6月	Windows10、Excel 2016をサポートした「DBEAM V9.0」販売開始
2018年	7月	新サービス est! forecast (AI需要予測) リリース

採用に関するお問い合わせ

メールアドレス：saiyo@tsl.co.jp

フリーダイヤル：0120-03-1289 (携帯電話可)

未来創造 テクノロジー More Value

～ 基盤技術と最新テクノロジーの融合で、
確かな明日を築く ～

MISSION

TSLの Vision

これまで培った基盤技術とAI・IoT・X-TECHなど
最先端デジタルテクノロジーを融合し、
お客さまや社会にさまざまなソリューションを提供する
デジタルトランスフォーメーションカンパニーを目指します

TSLの Core Value

お客さまに期待以上の価値を提供することで、
“心を打つ満足(宝)”を届けます

TSLの Culture (社風)

技術を継承しつつ、
最新技術の習得によりITプロフェッショナルを育成し
1人ひとりが夢をもって働ける風土を目指します

TSLの Compliance (法令遵守)

常に社会性を重んじ、
透明性の高い健全な事業活動を行います

BUSINESS

東京システム技研の事業



金融ソリューション

- 金融業界向け業務アプリケーション開発・運用保守



製造ソリューション

- ERPパッケージ(生産販売原価管理システム)
- 業務コンサルティング



AIソリューション

- 需要予測システム[est! forecast]の開発・導入サポート
- AIの導入支援、AIを活用したシステムの構築・開発・保守



クラウド インテグレーション

- Webシステム、スマートデバイスを活用した開発
- クラウドサービスの開発・保守
- 大規模システムプロジェクトマネジメント



その他開発

- DX(デジタルトランスフォーメーション)コンサルティング
- X-TECH(ブロックチェーン・IoT・スマートデバイス・RPA)ビジネス
- ISV(独立系ソフトウェアベンダー)ビジネス

※ブロックチェーン:分散型台帳技術
IoT:インターネットオブシングス
RPA:ロボティック・プロセス・オートメーション

KEYWORD

1971年設立
(歴史ある企業)

ERPパッケージ
導入実績

150社以上

AI技術
(est! forecast)

クラウドとIoTが連動した
高い付加価値のサービスを提供

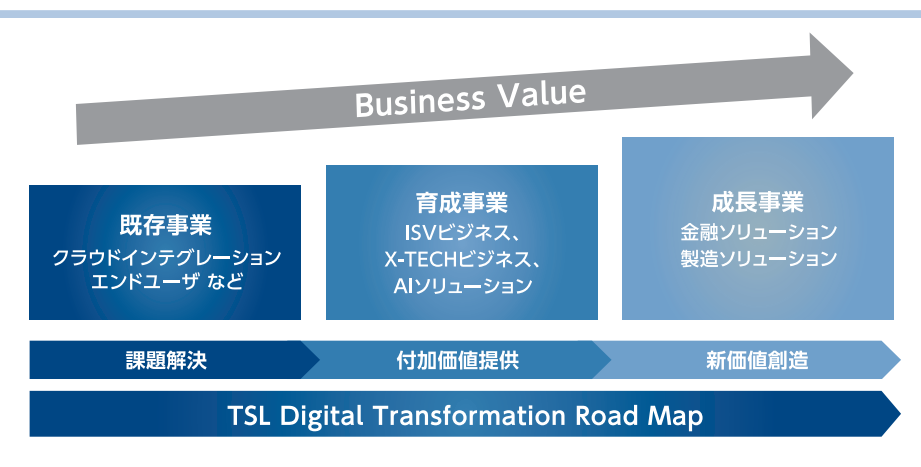
大手複合グループ企業からも
信頼される
ソリューション力

企画・設計・運用・改善・保守まで
ワンストップサービスが提供可能

幅広い技術領域

モバイル機器から
産業用機器向けの
各種組み込み機器開発力

事業戦略イメージ図



社員 紹介

Q TSLを選んだ理由は？

合同企業説明会での会社説明がわかりやすく、志望者を思いやる姿勢に好印象を抱きました。さらに会社説明会に参加して、事業内容や社風、待遇体系などを詳しく知る中で、「自分の意見を積極的に発信しながら、多種多様な経験を積むことができそうだ」と確信して、入社を決めました。

入社後、半導体向けのCIMシステムを皮切りに、モバイルフォン向けシステムや大手新聞社向けシステムの開発など、幅広い分野に広がるバラエティ豊かな案件に関わることができました。志望時の予想通り、着実に成長ステップを歩み続けてきた実感があります。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は？

最も思い出深いのは、入社2年目に担当した半導体向けプロジェクトです。初めてお客さま先に常駐。当初は3カ月の予定でしたが、まだまだ学ぶことが多く「確かなアウトプットを出したい」と自ら契約期間の延長を申請し、合計1年間参画。お客さまからも感謝のお言葉をいただくことができました。

現在、企業活動の全プロセスを統合したパッケージ・ソフトERP (Enterprise Resource Planning) の開発・導入を進めています。導入プロセスは苦勞も少なくありませんが、「標準手順に即した業務改革が進んだ」というお客さまのご評価が、何よりの励みです。



S・O

製造ソリューション部・課長
2007年入社
情報処理科卒

1日のスケジュール	9:00 出社 メールチェック	10:00 打ち合わせ・開発作業	12:00 同僚と社外ヘランチ (カレー屋が多い)	13:00 打ち合わせ・開発作業	18:00 退社 (部活動の日もあり)
-----------	-----------------------	---------------------	---------------------------------	---------------------	---------------------------



T・K

金融ソリューション部
2002年入社
生産電子システム技術科卒

1日のスケジュール	9:30～10:00 出社 メールチェックおよび作業確認	10:00 打合せ・開発作業	12:00 同僚とランチ	13:00 打合せ・開発作業	19:00 退社
-----------	------------------------------------	-------------------	-----------------	-------------------	-------------

Q TSLを選んだ理由は？

就職に際しては「日本の製造業、特に半導体業界で働きたい」と考えていました。とはいえ、電気・電子を専攻したものの、生産管理に係わるCIM (Computer Integrated Manufacturing:コンピュータ統合生産)分野に明るかったわけはありません。しかしTSLでは、入社後に未経験者にもプログラミング研修が用意されていることを知り、入社を決断しました。また、出身地の北陸にも関連会社があり、将来的には地元に戻って働く選択肢があることも、入社意欲を後押しする追い風となりました。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は？

入社時の希望通り、液晶TV工場の歩留管理や半導体製造管理をはじめ、電子基板CADソフトの機能開発や大手流通グループ企業の食品生産管理など、幅広いシステム案件に関わることができました。現在は金融系コールセンターのシステム刷新プロジェクトで、新サービスへの切替え方式の検討や計画立案などを担当。後輩たちの育成にも努めています。ICT業界は進化の足が速く、常に新技術や手法の習得が求められます。日々新鮮な発見や学びがあり、モチベーションや挑戦心を燃やして仕事に励んでいます。

Q TSLを選んだ理由は？

就職活動に先立って「これからの時代を牽引するパワーは…」と業界研究を重ねた結果、ターゲットをICT業界に絞っていきました。もちろん、未知の世界に飛び込む不安がなかったわけではありません。しかし、TSLの会社説明会で、多くの先輩達がシステム構築未経験者でも、充実した研修体制や実務経験を通じて、ICTプロフェッショナルとして活躍していることを知り、「ここなら頑張れそうだ」と確信しました。実際に入社してみて、半年の研修期間を終えてプロジェクトに配属されてから、日々さらに実践的な学びの機会に恵まれ、成長を実感しています。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は？

入社して1年ほどたった頃、クラウドのセキュリティ管理ツールに係わるプロジェクトに参加しました。主にプログラミングを担当しましたが、研修で学んだJavaの知識はもとより、私にとっては初めての新しい言語、TypeScriptやhtmlが求められました。そこで、先輩たちの成果である既存ソースコードを調べたり、アドバイスをもらったり…。次第に、自分でもコードが作成できるようになりました。その後のテスト工程で、コードの不具合も発見されましたが、それまでの理解度の蓄積のおかげで自らバグを修復し、トラブルの芽を摘むことができました。



R・G

デジタルソリューション部
2020年入社
経営学部・経営学科卒

1日のスケジュール	9:30 出社 メールチェック	10:00 開発作業	12:00 社内でランチ・休憩	13:00 打合せ・開発作業	17:45 休憩	18:15 開発作業	19:00 退社
-----------	-----------------------	---------------	--------------------	-------------------	-------------	---------------	-------------



A・T

金融ソリューション部
2013年入社
理工学研究科
環境システム学専攻課程修了

1日のスケジュール	9:00 出社、メールチェック、 1日の作業内容確認	10:00 打合せ・開発作業	12:00 お昼休憩	13:00 打合せ・開発作業	18:00 退社
-----------	----------------------------------	-------------------	---------------	-------------------	-------------

Q TSLを選んだ理由は？

ちょっと卑近な話ですが、会社が立地する新宿は自宅から電車で10分圏内。以前からショッピングなどでも馴染みが深く、交通フットワークの良さや利便性の高さに、勤務環境としての魅力を感じました。さらに、『ヒートアイランド現象のシミュレーション』をテーマとした修士論文で、プログラミングを学びましたが、「この会社なら、そんな知識や経験が活かせるのではないかな…」という期待もありました。実際に会社訪問してみて、フランクで風通しの良い雰囲気を感じ、自分らしく自然体のまま活動しながら成長を託すことができそうだと実感しました。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は？

現在、アプリケーションリーダーとして、クレジットカード会社や銀行のコールセンターシステムの更改・改修案件を担当。進捗管理やお客さま満足の追求に務めています。以前参加した、食品工場の基幹システム開発プロジェクトで、初めてお客さまと直接お会いして、ビジネス課題をお聞きしたり、それに基づくシステム要件をやりとりする機会を得ました。完成したシステムは「TSLのおかげで、業務効率が向上した」とお褒めの言葉をいただき、社内報にも成功事例として掲載されました。これを機に、次の機能追加や改修案件は、指名発注していただきました。

求める人材像



人事スローガン

“WORK HAPPINESS”

－ 働くことが楽しくなる会社を創ります －

社員が心身ともに健康で楽しく働けるよう、
納得性・満足度の高い人事制度や
最高のパフォーマンスが発揮できる環境を創り続けています。

低離職率

5.1%

平均
有休取得日数

11日間

高育休取得率

100%

高い
平均年収

東洋経済
「平均年収が高い中小企業」
ランキング

フレックス
タイム制

POINT

TRAINING SYSTEM

研修制度

▶ 新入社員研修

新入社員研修では、最初の1カ月間は集合研修として、コンピューター未経験の方でも理解できるようコンピューターについて1から学び、ハードウェア・ソフトウェアそれぞれについて研修を行うと同時に、SEとして最も必要なコミュニケーション力（聞く・話す・読む・書く）に重点をおいた研修を実施します。その後、配属された部門ごとの研修へと移行していきます。

1年間の研修体制

12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~
				入社												
				部配属												
				B. 集合研修												
				C. 部門研修												
										D. 初級技術者研修						
										E. OJT						

▶ OJT

期間は1年ですが個々のレベルにあわせて数年かけて行うこともあります。実際のプロジェクトに関わりながら成長を実感していただきます。また並行して基礎知識習得のため、講義も受けていただきます。データベースやネットワーク、セキュリティに関する技術など、エンジニアにとって必須となる知識がテーマです。

▶ その他の研修

新入社員研修後も先輩社員として後輩を迎え入れるための研修や、数年スキルを積み重ねた後にはリーダーとなるための研修、ほかにも今、話題のAI（人工知能）に関する中級技術者研修、通信教育制度などがあり、適性や自分のキャリアプランに合わせてスキルアップできる研修が充実しています。また、会社で推奨する資格を取得すると15万円までの報奨金が支給されます。

